

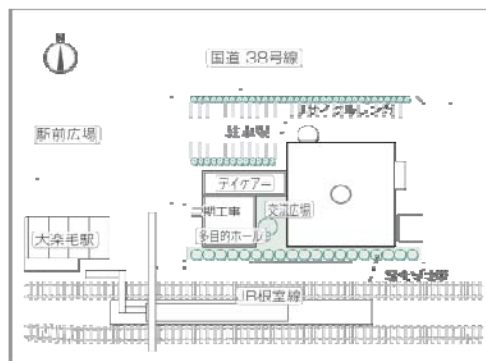
NO 5	釧路優心病院	医療法人社団 優心会 釧路優心病院		
提案概要	寒冷地に適した省エネ技術(地中熱利用ヒートポンプ、高断熱外皮、太陽光発電など)を多数導入した北海道に建設される病院。省CO2効果をロビー等に設置のモニタに加え、Webでも公開するなど見える化と情報発信にも取り組む。			
事業概要	部門	新築	建物種別	建築物(非住宅)
	建物名称	釧路優心病院	所在地	北海道釧路市
	用途	病院	延床面積	4,218 m ²
	設計者	計画設計・インテグラ	施工者	(未定)
	事業期間	平成20年度～平成21年度		

概評

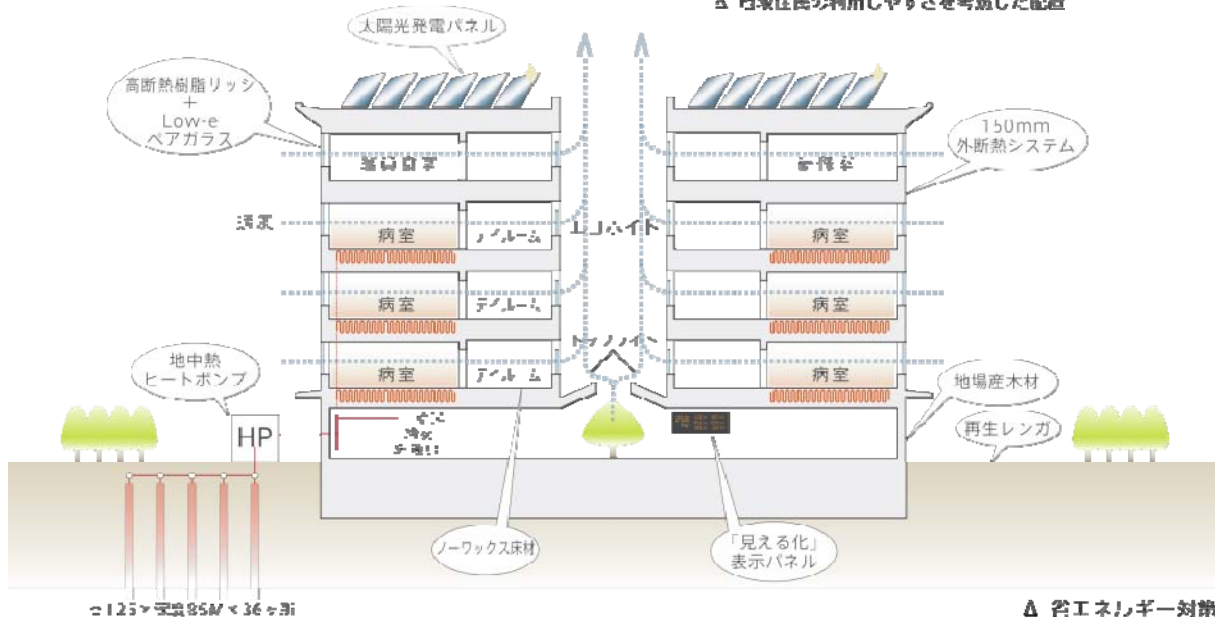
コンパクトな建築形態の採用や150mm厚の外断熱などの熱負荷対策に加え、地中熱利用、良好な日照条件下での太陽光発電等、釧路の地域性に配慮した省CO2技術を取り入れており、寒冷地におけるモデルとしての波及効果が期待できる。

特に、設備的省CO2の手法が少ない寒冷地において、有効な地中熱利用ヒートポンプシステムを建物全体の熱源に利用している点が先導的であり、評価できる。また、来院者への運転データの見える化、外装材地場産木材の使用など、総合的な工夫も評価できる。

参考図



▲ 地域住民の利用しやすさを考慮した配置



▲ 省エネルギー対策